

平成21年度 奈良市市民企画事業 採択事業概要

事業名	《市民、大学、市の三者が協働した》 奈良女子大前の旧交番を観光活動等の地域活性化拠点として活用する事業
提案者	旧鍋屋連絡所の活用を考える会 代表 八木 富造
提案概要	明治30年頃に設置され100年余りの歴史を持つ奈良女子大学正門前の旧交番(鍋屋連絡所)を解体・修理し、“きたまち”の玄関口の観光拠点及び自治会活動の拠点として保存活用する。解体・修理後の施設の運営は、協議会を設立し、地域住民や市民、大学が協働して行う。このことにより、“きたまち”地域全体の面的な観光への効果、奈良女子大学や隣接する建物とあわせて地域全体の景観を誘導する効果、日常生活を送る地域住民の集まりなど地域活動への効果が期待できる。

<審査講評>

旧鍋屋連絡所(奈良女子大学前交番)は、国の重要文化財に指定されている同大学の旧本館及び守衛室とも相まって「奈良きたまち」の歴史的景観を形成する建物であり、それを改修・保存し、観光や地域活動の拠点として活用することは、「奈良きたまち」の地域全体のまちづくりに大きな意味を持つと考えます。また、提案団体には地域住民や奈良女子大学の関係者も関わっており、施設の整備後も主体的な運営が期待できます。

しかし、旧鍋屋連絡所の建物や土地の大部分は奈良市が所有しているものではないため、それらの所有者の協力が得られることや、民間都市開発機構からの助成が受けられるなど整備計画費が賄われること、また、地域住民の協力により、原則として常時開所することを条件とし、これらが解決されることを前提として、市民企画事業として採択することがふさわしいものと判断します。



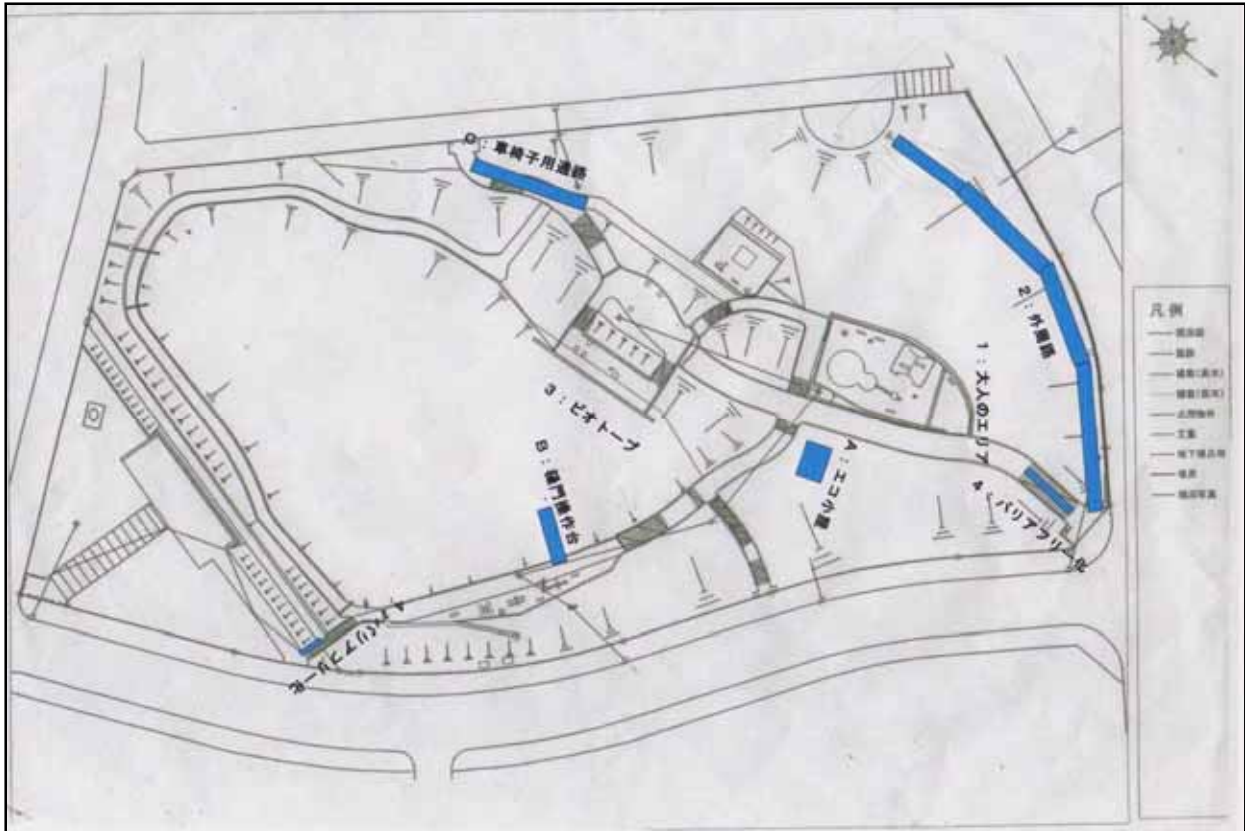
平成21年度 奈良市市民企画事業 採択事業概要

事業名	鳥見バイオパークづくり(平成22年度)
提案者	鳥見バイオパークづくり隊 代表 市原 康二
提案概要	<p>平成20年度に市民企画事業に採択され、平成21年度に事業化に取り組まれている「鳥見バイオパークづくり」の追加提案。既に整備した「エコ小屋」「樋門操作台」「車椅子用通路」に加え、以下1～4の整備を行うことで、地域の全ての人が憩うことのできる世代間交流の場となるとともに、鳥見小学校の学習の場として活用されることが期待できる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大人エリア: 舞台、観覧席を設置する。 2. 外周路の整備: 公園を徒歩で周回可能にする。 3. ビオトープ化: 水生植物の植栽、水生動物の放流等。 4. バリアフリー化: 出入り口2箇所の階段に2段式の手すりを設置する。

<審査講評>

「鳥見バイオパークづくり」は平成20年度に市民企画事業として採択され、平成21年度から既に取り組んでいる事業ではありますが、公園の整備に対する地元住民の熱意や地域が一体となった取り組みは評価できるものであり、継続して事業を行うことで、今後の更なる活動の発展が期待でき、地域住民の憩いの場や世代間交流の場となるものと考えます。

ただ、外周路の整備など提案内容の必要性、費用面、安全性、維持管理等については検討すべき課題があるため、市の担当課と十分に協議して事業を進めることを前提に、市民企画事業として採択することがふさわしいものと判断します。



平成21年度 奈良市市民企画事業 採択事業概要

事業名	里程元標復元事業
提案者	橋本町自治会 代表 大橋 守
提案概要	橋本町には、大正時代に作られた奈良市の起点を示す道路元標に接して、明治時代に作られ昭和初期まで存在した里程元標の台座がある。明治以降の奈良県、奈良市の歩みを今に伝える貴重な歴史的遺産であるこの里程元標を復元し、新しい観光資源として整備することで、歩きながら時代の流れを感じ、歴史を学ぶことのできるユニークな商店街としての魅力を深め、地域の活性化につながることを期待する。

<審査講評>

明治時代に建てられた、道路の起点を示す「里程元標」を復元し、観光資源として保存することは、文化・観光的な視点から有意義なものであり、また、復元にとどまらず、これを活用して、市民と市とが協働でPRして観光の集客につなげていくことで、地元の活性化にもつながるものと考えます。

ただ、費用や耐久性、安全性等の面から、材質は木材に限定せず、ステンレスや石材等での復元も考慮に入れること、周辺の道路状況を鑑みて、市の担当課と十分に協議し、維持管理は地元で行うことを前提に、市民企画事業として採択することがふさわしいと判断します。

